

電波時計 取扱説明書

(掛置兼用デジタル時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造
発売元

リズム時計工業株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
http://www.rhythm.co.jp

(Y1707)

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みのうえご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられないときは、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより、修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。
Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先

お客様相談室 0120-557-005 (フリーダイヤル)

受付時間 9:00~17:00 (土日、祝日および当社休日を除く)

お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してある型番をお伝えください。
例 8RZ〇〇〇 (〇印は数字です。)

CITIZENはシチズン時計株式会社の登録商標です。

当社はCITIZENブランドライセンス商品の掛時計、置時計、めざまし時計、温度湿度計、ストップウォッチを企画・製造・販売しています。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなら責任を負いかねますのでご了承ください。

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明

- ⊘は、禁止(してはいけないこと)を示しています。
- ⓘは、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

- ⓘ 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
必ず守る 万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

- ⊘ 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- ⊘ 禁止
- 電池に傷をつけたり、分解したりしない。 ●電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。 ●加熱したり、火の中に入れてたりしない。

- ⊘ 電池から漏れた液にふれない

- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

- 漏れた液に直接ふれないでください。
ゴム手袋をして電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

注意

傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容

- ⓘ 電池の⊕⊖を正しく入れる
必ず守る 逆に入れると液漏れや発熱の原因になり、故障やけがの原因になります。
- ⊘ 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびの発生や故障の原因になります。

- ⊘ 強い振動や衝撃を与えない
禁止 故障や破損の原因になります。
- ⊘ 分解したり改造しない
分解禁止 けがや故障の原因になります。

- ⊘ 下記のような場所では使わない
禁止 部材の変形、変色、劣化により、品質や精度の低下、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 温風ヒーターなど乾燥した風が当たる所。
- 温度が+50℃以上の所。
- 温度が-10℃以下の所。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気が発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

- ⓘ 液晶表示部が破損した場合は、素手でさわらない
必ず守る 万一、液晶材料が手などに付着した場合は、通常の石鹸で洗い流してください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 壁に掛けて使用した場合、静電気により製品や壁が汚れることがあります。定期的に汚れを落としてください。

電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

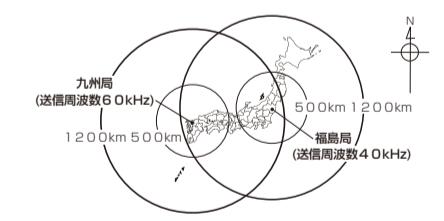
※標準電波の時刻情報は、およそ10年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局:おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2か所にあります。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jjy.nict.go.jp)

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

海外でのご使用になるときは、電波スイッチをOFFにして手動で日時を合わせてお使いください。

おもな製品仕様

使用温度範囲 -10~50℃ *結露しないこと	カレンダー 2002~2099年まで対応
液晶表示可読温度範囲0~40℃	六曜表示 2002~2030年まで対応
時間精度 表示精度 標準電波受信成功直後±1秒	カウントダウン 最大999日まで表示
標準電波を受信しない場合 平均月差±30秒	(カウントアップ)
(常温中のクォーツ精度)	
使用電池 単3形マンガン乾電池 JIS規格R6P 2個	温度湿度表示
電池寿命 約1年	測定間隔 1分間隔
電池交換時期 1時間に1回確認お知らせ機能	温度表示範囲 -9.9~+50℃
	温度精度 ±1℃
	湿度表示範囲 20~95%
標準電波日時自動修正	湿度精度 ±3%
受信局 福島局/九州局 自動選択	温度25℃、湿度60%RHのとき
受信機能 電波スイッチでON/OFF切り替え	
受信回数 8回/日	
受信時刻 1時~4時、13時~16時	
各時間帯の16分40秒から受信開始	
手動日時設定 2010~2099年まで設定可能	防塵防滴機能 なし

※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなり、表示が薄くなる場合があります。40℃以上になると表示が濃くなり、ムラに見えることがあります。

※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 お試用電池 2個 木ねじ 1個 保証書 1枚 取扱説明書 本書

静電気による誤作動について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときはリセットボタンを押してください。

用途について

- この製品は医療や業務用として開発したものではありません。
- 注意表示は、測定条件によって大きく変化します。あくまでも目安としてお使いください。
- 本製品は、温度、湿度の証明など商取引に使用することはできません。

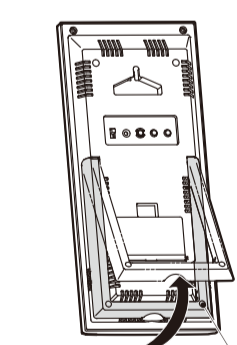
設置

注意

一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。粉じんが多い所、水がかかる所、結露する所では使用しないでください。故障や誤作動の原因になります。

- 屋外、温室、サウナ、プール、温泉、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。
- 直射日光が当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。
- 空気がよく循環する場所に設置してください。
- ※設置する高さによっても温度、湿度が変わります。一般的な室内の低い位置では温度は低く、湿度は高くなります。
- ※湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しの良い所と悪い所では違いがでてきます。

置く



置いてご使用になるときはスタンドを図のように引き起こしてください。

※無理な力を加えるとスタンドが外れたり、破損することがあります。

※転倒や落下を防ぐために、水平で振動の少ない安定した所に設置してください。

掛ける

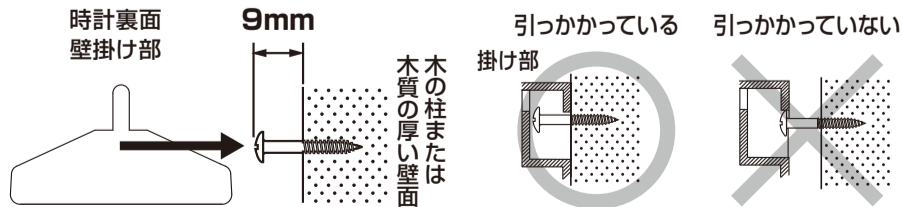
注意

掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 掛けるときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具(木ねじ)がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。
- スタンドは閉じてください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



その他の壁面の場合

- 石こうボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

